

平成 19 年度 第 2 回社会教育委員会議 会議録

【日 時】平成 19 年 7 月 20 日（金）

午後 1 時 30 分～4 時

【場 所】教育委員会 4 階大会議室

【出席者】

（委 員）石井真規委員、今井岩夫委員、梅谷三恵委員、遠藤織太郎委員、大橋孝子委員、岡田重信委員、蒲田知子委員、木村和子委員、小林薫委員、近藤吉光委員、関口一郎委員、竹内みどり委員、野上純一委員、中尾葉子委員、根本孝英委員、福田美也子委員、藤川まき委員、星野静夫委員、増田剛志委員、松原泉委員、柳正直委員、吉田彊委員、中村準委員 23 名

（担当職員）村越部長、井上社会教育課長、菅藤少年センター長、斉藤文化課長、小熊公民館長、池田図書館長、深山主幹、杉森鳥の博物館長、石田主幹、大井体育課長（10 名）

（事務局） 鷲見課長補佐、斉藤、山崎

【議 題】

- 1 各部会からの会議等の報告（各部部长より）
- 2 平成 18 年度社会教育事業の実績報告について
社会教育課、公民館
図書館、鳥の博物館
文化課、体育課、青少年担当・少年センター
- 3 平成 19 年度社会教育主な事業について
社会教育課、公民館
図書館、鳥の博物館
文化課、体育課、青少年担当・少年センター

【議 事】

1 各部会からの会議等の報告（各部部长より）

1) 社会教育部会

- ・事業評価をきちんと精査して、次年度の事業に反映してもらいたい。
- ・湖北地区図書館建設に関して、図書館と連携して、引き続き勉強会を実施していきたい。

2) 文化・芸術部会

- ・8月25日アロハフェスタにぜひ多くの方の参加をお願いします。
- ・手賀沼文化拠点整備計画を着実に進めていただきたい。

3) スポーツ・レクリエーション部会

委員より、次のような質問、要望がでた。

- ・小学校プールの開放については、地域性・児童数等考慮して、全部で10校の整備計画ということだが、できれば13校全校で開放してもらいたい。
- ・つくし野多目的広場整備事業について、駐車場スペースを3台整備するということが、市民を対象とした広場として非常に少ない。
- ・子ども交流拠点については、建物の位置や方向などについても全体計画の中で、見直しをしてもらいたい。
- ・指導者が少ないことなどの理由で、学校の部活が縮小されている。学校管理の問題等あると思いますが、地域の有資格者等をコーチとして採用してもらいたい。
- ・布佐下多目的広場での活動がとても活発です。市で仮設トイレなど整備しているが、将来的にはクラブハウス等の建設も検討していただきたい。

4) 青少年部会

- ・「宿泊通学事業」のスケジュールが過密でないか
- ・少年指導員は地道な活動であるが、大切だと考えている
- ・取手市とはプールなど相互利用しており、キャンプ場も市内の方と同じ条件にできないか。

2 平成18年度社会教育事業の実績報告について

【質疑】

湖北地区図書館建設の資金的な裏づけはあるか。

湖北高校跡地の利用についても、県から譲渡なのか払い下げかもはっきりしない。築28年で、耐震の改築工事も多額になると思われる。それらの費用は現在のところまったくわからない。

計画を策定するにあたっては、まず予算を決めてから、その範囲で図書館建設を考えるべきでないか

市では、緊急性の高い事業から順番に進めていく（予算措置する）方法をとっていると担当課では認識している。

湖北高校跡地の利用計画については、今のうちからプランしたほうが県へのアピールという点からも良いのではないか

図書館だけの問題でなく、市全体で活用方法を検討しないといけないと思う。

中学校の部活数が年々減っているのを感じるが。

原因には、教師の高齢化、学級数（児童数）の減少、教師自体も減ってきていることなどが考えられる。

教師だけでなく、地域の指導者を派遣するようなシステムについて、教育委員会でも検討していきたい。

杉村楚人冠邸の保存と活用について、18年度中にどのくらい事業が進捗しているのか。

また、緑地保全にあたってのコンセプトなど教えてほしい。

手賀沼文化拠点整備計画の中核的施設であり、斜面や緑地、資料等も含めて保全する形で買収していきたい。

つくし野多目的広場駐車場が現状より少なくなったのはなぜか。

多目的広場として、駐車場4台は妥当であるのか

周辺の道路事情、地域の方の要望などがあり、駐車スペースが少なくなった。

現状はテニスコートとして使用され、10台の駐車スペースがあるが、多目的広場の整備にあたり、その目的を達成するため、地域の方と話し合った結果、駐車スペースが4台となった。

総合型地域スポーツクラブ育成事業と、多目的広場等の施設整備との関連は。

総合型スポーツについては、学校施設（体育館、グラウンド）で進めていきたいと考えている。

3 平成19年度社会教育主な事業について

社会教育課・公民館

・子どもの権利理解講座について、18年度は地区別に3回実施した。

19年度は4つの小中学校にて順次実施する。

・文化施設検討委員会にて、施設の機能、ホールの規模等検討している。

規模としては、1000人程度、役割として市民活動、学校教育を支える場、音楽性の高いホールといった各立場からの意見がでている。

・公民館学級運営事業について資料にそって説明。

【質疑】

公民館で、これまで実施してきたパソコン講座は廃止したのか

我孫子地区公民館に設置してあるパソコンは、機種がかなり古いため、新しい機種への要望を考えた。最近では、民間での講座も普及しているなかで、公民館でのパソコン学級の必要性についても検討した結果、19年度から取りやめた。

図書館・鳥の博物館

資料にそって説明

【質疑】

「鶏民芸品展 秋篠宮殿下コレクション」で、水の館定員は 200 名だが、募集人員をもう少し増やしたほうが良かったのではないかと

警備上の関係で、不特定多数の方を入場させることができなかった。

鳥類生息状況調査について、例えば、手賀沼遊歩道を歩いているときに、この木にはこんな鳥がいますよといった掲示があるといいと思うが。

現在、公園緑地課と協力して樹木の看板を設置しているので、鳥の情報についても検討すれば可能だと思う。

図書館の職員について、現在嘱託職員の割合が増えているということだが、湖北地区図書館の建設にあたり、職員の体制は整っているか

どの部署においても正規職員数が減少している。仕事の内容をよく精査し、正規職員と嘱託職員の仕事の範囲をどこまで担うか検討してまいりたい。

文化課、体育課、青少年担当・少年センター

資料にそって説明

【質疑】

学校プールの開放についてリスクマネジメントは怎么样了

プールの開放にあたっての予算は毎年約 1000 万円を計上。

また、運用はすべて民間委託している。契約額 1759 万円（8 校分）

入札方式で決定。落札は日進産業である。

監視員にあっては、赤十字の資格免許が必要などの条件をつけている。

チャレンジワーク、青少年キャンプについてリスクマネジメントは怎么样了

安全性については、夜間見守り隊を配備する等行っている。

青少年キャンプについては、職員と青少年相談員の話し合いにより安全確保に努めている。

学校プールの運用の委託化にあたって、体育課で監視員のチェック等はおこなっているか。監視員の免許を有する職員はいるか

なるべく数多く（一週間に 1 回程度）職員が見回るようにしている。8 月 31 日最終日に撤去作業を行っているが、開放時間内に作業しないよう徹底する。

体育課で監視員の資格をもつ職員はいないが、今後も研修等に参加し、安全の確保に努めていきます。

五本松運動公園の整備にあたり、400 メートルトラックは整備するか。

現行のところ、他の整備を含めて考えるとたいへんむずかしいと思う。これから整備計画の中でも検討してまいりたい。

「子どもに関する条例制定」について内容を聞きたい。

権利条例の制定に向けて、現在子どもを主体としてどのような条例にするか検討している。12 月ぐらいには方向性が決まると思う。